



年少組だより

～展覧会 特集号～

令和5年 12月13日
りす組担任 細井 京子
ことり組担任 浅海 結実

入園してから、いろいろな遊びや活動を通して、作ったり、描いたりすることを楽しんできた年少組の子どもたち。様々な用具、材料に触れながら、「自分で描く」「自分で作る」ことの面白さを味わってきました。2学期に入ってからは、フィンガーペインティングやローラー等、絵の具でダイナミックに活動することも積み重ねてきました。

今回の展覧会では、「わいわい だいぼうけん」をテーマに、立体と平面の2種類の作品を展示しています。子どもたち一人一人の楽しんでいること、思い等をそれぞれの作品から感じ取り、成長を受け止めていただけたら、幸いです。



平面作品 「ゆかいな どんぐりだん」



徒歩遠足、代々木公園のバス遠足で拾ったどんぐり。ご家庭からもたくさん持ってきていただいたおかげで、たくさんの種類、大きさ、形に触れることができた子どもたち♡

遠足後、クレパスで描いたり、糊で貼ったりしてや糊でもドングリを作りました。

「絵の具で描いたらもっと楽しそう！」と、大きな紙に思い切りドングリを描いてみることにしました。2色の茶色から、好きな色を選び、スポンジ筆を使ってぐるぐる〜！！のびのびと描いています。

絵の具が乾いてから、帽子や目、鼻、口等のパーツを貼り、クレパスで目や帽子の模様も描きました。



絵の具でぐるぐる〜
のびのびと好きな形の
ドングリを描きました。



2種類の形から帽子を選んだり、
好きな鼻、口の形を選んだりして、
思い思いにパーツを貼りました。



クレパスで帽子の模様や
目、ほっぺ等も描いています。
それぞれの表情が魅力的です♡



立体作品 「もりの どうぶつたち♪」



いろいろな動物になりきって表現遊びを楽しんできた子どもたち。今度は自分の好きな動物を作ることになりました。

好きな色や、作りたい動物のイメージで京花紙の色を選び、1枚ずつ袋に入れていきます。ふわふわになるように、「これくらい?」「もうちょっと!」と言いながら袋いっぱいになるまで入れました。袋の口を留めたら、耳や手足、しっぽ等を、いろいろな形(丸や三角、細長い形)から選んで、セロハンテープでつけました。

丸シールを貼って顔を作り、出来上がると嬉しくて、「見て見て、ぴょんちゃん!」と名前を付けたり、おんぶ紐を持って来て「おんぶさせて」と言ったりして、遊び出しました。友達と、動物同士でお話をする子もいて、自分で作った物が大好きになり、すぐに遊びたくなる姿や、作った物を通して友達との関わりがうまれる様子、いろいろな動物を作りたくなって繰り返し楽しむ姿がありました。



テープは、「これくらいかな?」とちょうどいい長さになるように切ったり、パーツが取れないようにしっかり留めたりして作りました。



一緒にお散歩したり、お家の中で寝かせたりしています。具合が悪くなったら、お医者さんで治してもらいました♡

